



2022年度 中間連結決算

引き続きコロナ禍の影響があるものの、前年からは損益改善

関西エアポート株式会社は、2022年4月から2022年9月までの第8期会計年度中間連結決算において、営業収益は412億円、営業損益は122億円の損失、経常損益は174億円の損失、中間純損益*は128億円の損失を計上しました。

今中間期は、段階的な入国規制緩和、国内の行動制限緩和等により航空旅客需要が着実に回復しております。依然として厳しい状況にあるものの、前年度と比較すると、営業収益は34%の増加となりました。また、人件費を含む費用の削減を継続して取り組み、営業損益では前期比53億円の増益、経常損益では47億円の増益、中間純損益では30億円の増益となり、損益は改善しました。

(連結損益計算書)

(単位：億円)

	2021.4-2021.9	2022.4-2022.9	増減	%
営業収益	307	412	105	+34%
外部費用	(269)	(316)	(48)	+18%
EBITDA	38	96	57	+150%
減価償却費	(213)	(218)	(6)	+2%
営業損益	(174)	(122)	53	-
経常損益	(221)	(174)	47	-
中間純損益*	(158)	(128)	30	-

* 「中間純損益」は、「当社株主に帰属する中間純損益」を記載しています。

(航空需要の状況)

入国規制や新型コロナウイルス感染症対策の段階的な緩和により、国内線は2019年の水準に近づきつつあり、国際線は緩やかに回復しています。依然として厳しい状況にあるものの、3空港合わせた航空機発着回数は13.2万回、航空旅客数は1,072万人と、前年度と比べそれぞれ40%増、114%増となりました。

	2021.4-2021.9	2022.4-2022.9	増減	増減率
航空機発着回数（万回）	9.4	13.2	3.8	+40%
関西国際空港	3.3	4.6	1.3	+38%
大阪国際空港	4.7	6.9	2.2	+48%
神戸空港	1.4	1.7	0.3	+18%
航空旅客数（万人）	502	1,072	571	+114%
関西国際空港	142	350	208	+147%
大阪国際空港	288	581	293	+102%
神戸空港	72	142	70	+97%

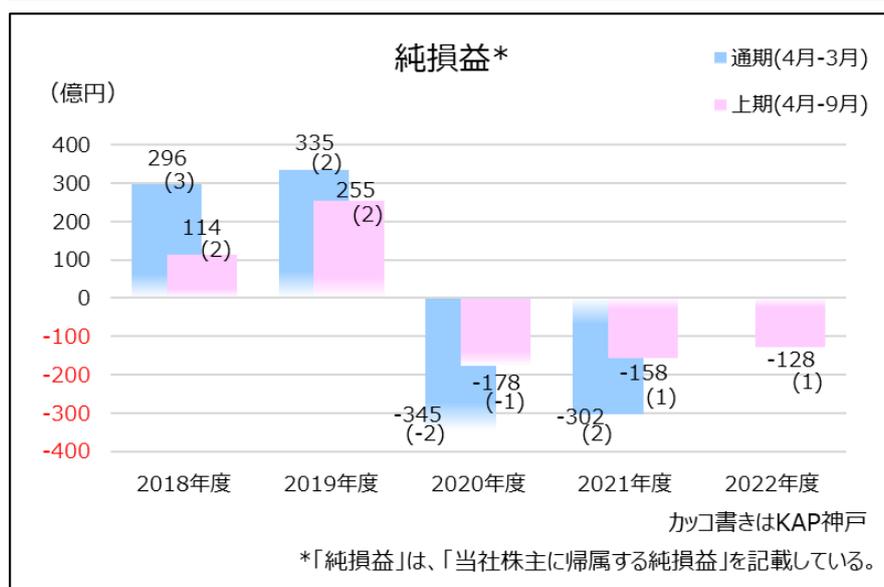
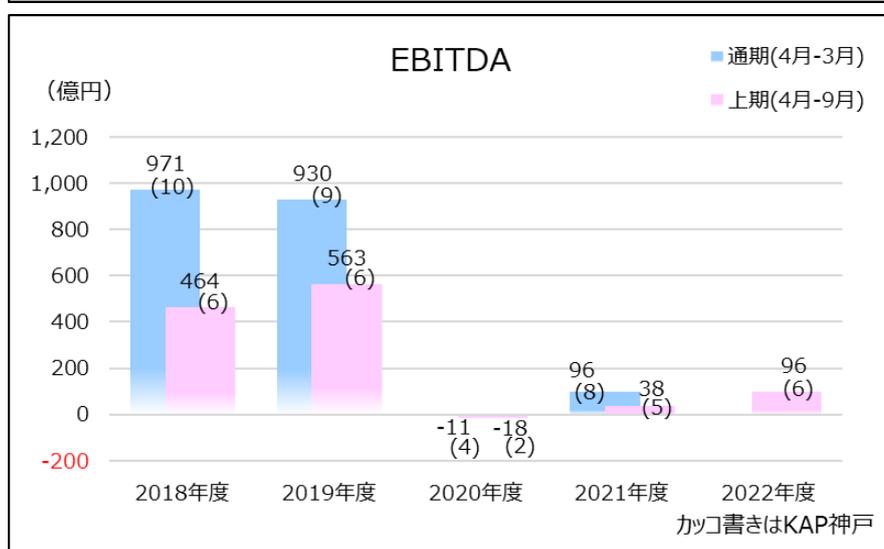
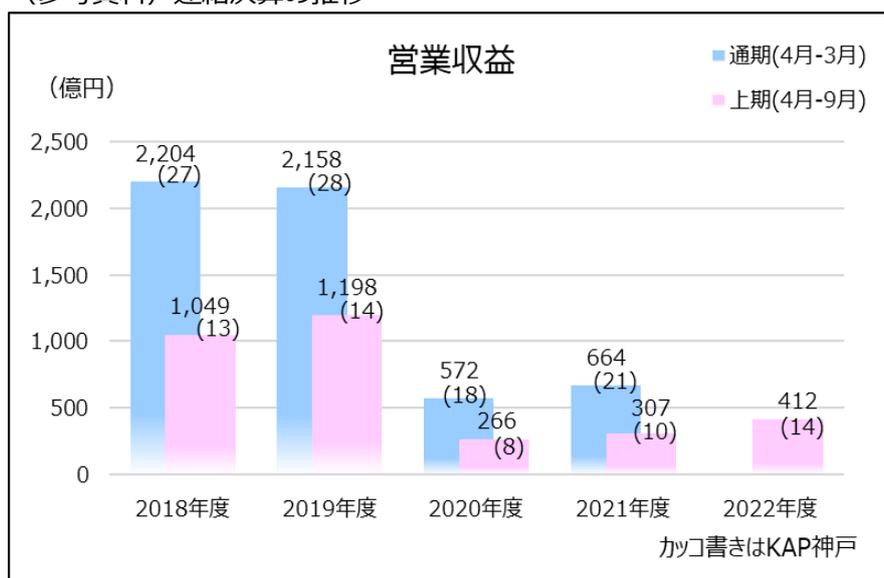
（連結貸借対照表）

2022年9月30日現在における財政状態は、前期末と比べると、建設仮勘定の増加により、資産合計は1兆6,445億円となりました。また、未払金の増加などにより、負債が増加した結果、負債合計は1兆6,109億円となりました。

（単位：億円）

	2022.3.31 現在	2022.9.30 現在	増減
流動資産	935	932	(4)
固定資産	15,368	15,513	145
資産合計	16,303	16,445	141
流動負債	641	965	325
固定負債	15,205	15,144	(61)
負債合計	15,846	16,109	263
株主資本	440	312	(128)
その他の包括利益累計額	(1)	4	5
非支配株主持分	19	20	1
純資産合計	457	335	(122)
負債・純資産合計	16,303	16,445	141

(参考資料) 連結決算の推移



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
 グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
 Tel : 072-455-2201

連 結 損 益 計 算 書

〔 自 2022 年 4 月 1 日
至 2022 年 9 月 30 日 〕

(単位: 百万円)

営 業 収 益		41,213
営 業 原 価		46,572
営 業 総 損 失		5,358
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		6,795
営 業 損 失		12,154
営 業 外 収 益		978
受 取 利 息 及 び 配 当 金	252	
雇 用 調 整 助 成 金	289	
そ の 他 の 営 業 外 収 益	437	
営 業 外 費 用		6,199
支 払 利 息	6,041	
支 払 手 数 料	41	
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	106	
そ の 他 の 営 業 外 費 用	9	
経 常 損 失		17,374
特 別 利 益		80
固 定 資 産 売 却 益	0	
補 助 金 収 入	80	
特 別 損 失		861
固 定 資 産 除 却 損	358	
固 定 資 産 圧 縮 損	14	
更 新 投 資 に 伴 う 撤 去 費 用	291	
商 品 評 価 損 等	196	
税 金 等 調 整 前 中 間 純 損 失		18,155
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	218	
法 人 税 等 調 整 額	△ 5,688	
中 間 純 損 失		12,685
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益		94
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 損 失		12,779

(記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)

連結貸借対照表

[2022年9月30日現在]

(単位: 百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	93,174	流 動 負 債	96,519
現金及び預金	72,062	買掛金	666
売掛金	6,210	未払金	38,407
契約資産	69	未払費用	5,098
商 品	1,546	短期借入金	10,000
原材料及び貯蔵品	1,288	1年内返済予定の長期借入金	4,042
1年内回収予定の差入保証金	2,210	1年内支払予定の公共施設等運営権に係る負債	30,246
未 収 金	1,425	未払法人税等	1,764
そ の 他	8,368	契 約 負 債	2,598
貸倒引当金	△ 8	賞 与 引 当 金	966
		ポ イ ン ト 引 当 金	24
		そ の 他	2,704
固 定 資 産	1,551,296	固 定 負 債	1,514,404
有 形 固 定 資 産	58,434	社 債	4,860
建物及び構築物	3,557	長 期 借 入 金	207,775
機械装置及び運搬具	10,837	公共施設等運営権に係る負債	1,237,064
工具器具備品	5,402	特 別 修 繕 引 当 金	49,613
土 地	603	退 職 給 付 に 係 る 負 債	5,991
建設仮勘定	37,944	そ の 他	9,099
そ の 他	88		
無 形 固 定 資 産	1,358,907		
公共施設等運営権	1,294,987		
更新投資に係る資産	61,862	負 債 合 計	1,610,923
そ の 他	2,057	純 資 産 の 部	
投資その他の資産	133,954	株 主 資 本	31,181
投資有価証券	1,072	資 本 金	25,000
退職給付に係る資産	280	資 本 剰 余 金	25,000
差入保証金	89,517	利 益 剰 余 金	△ 18,818
繰延税金資産	42,421	その他の包括利益累計額	388
そ の 他	932	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	388
貸倒引当金	△ 269	非支配株主持分	1,977
		純 資 産 合 計	33,546
資 産 合 計	1,644,470	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,644,470

(記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンサルティング、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界約30カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

今後も、常に新しい価値を創造する強みと専門性を生かし、<オリックス>という完成形のない独自のビジネスモデルを基に、企業や人々に活力をもたらす企業活動を通じて社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12カ国において53空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

2022年度 中間連結決算

2022.12.15



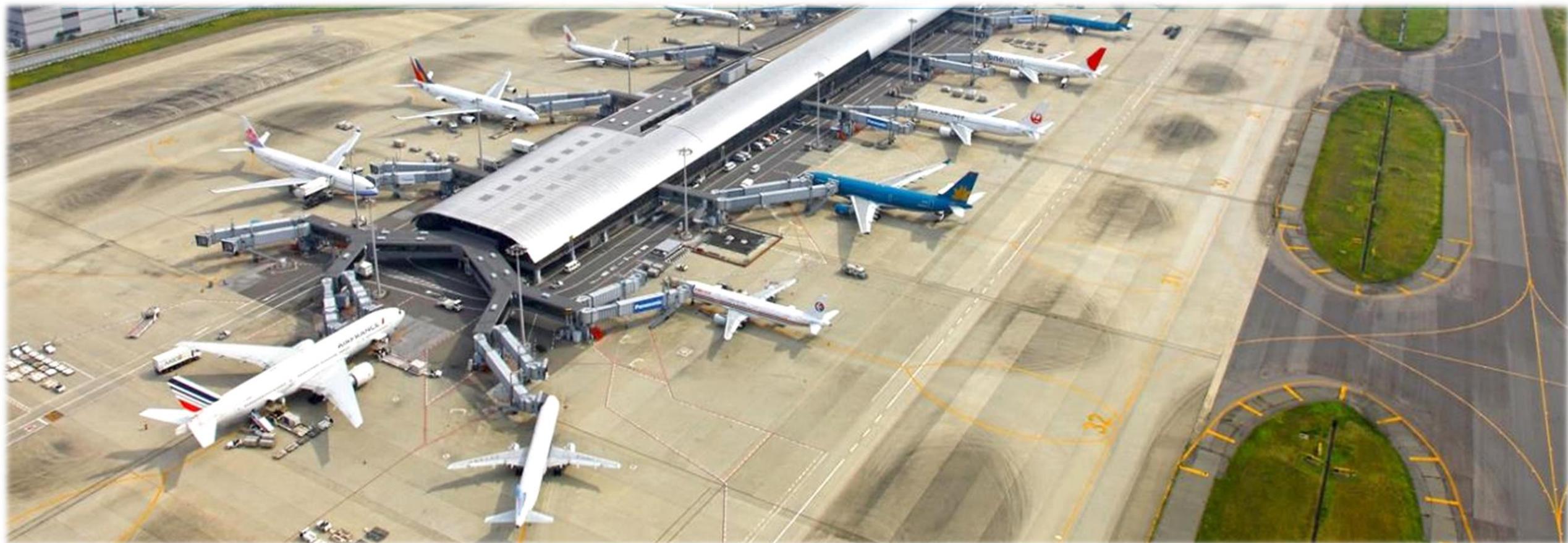
Shaping a New Journey



アジェンダ

- 2022年度 中間連結決算の概要
- 営業収益分析
- 2022年度の取り組み
- 質疑応答





2022年度 中間連結決算の概要

引き続きコロナ禍の影響があるものの、前年からは損益改善

【単位：億円】

1. 引き続きコロナ禍の影響があるものの、前年と比較すると、段階的な入国規制緩和、行動制限緩和により着実に航空需要は増加。

2. 発着回数・旅客数の増加を受け、前年と比べ増収。

3. 費用の削減に継続して取り組み、前年からは損益改善。

	2021.4-2021.9	2022.4-2022.9	増減	%
営業収益	307	412	+105	+34%
EBITDA	38	96	+58	+150%
営業損益	(174)	(122)	+53	-
経常損益	(221)	(174)	+47	-
中間純損益*	(158)	(128)	+30	-

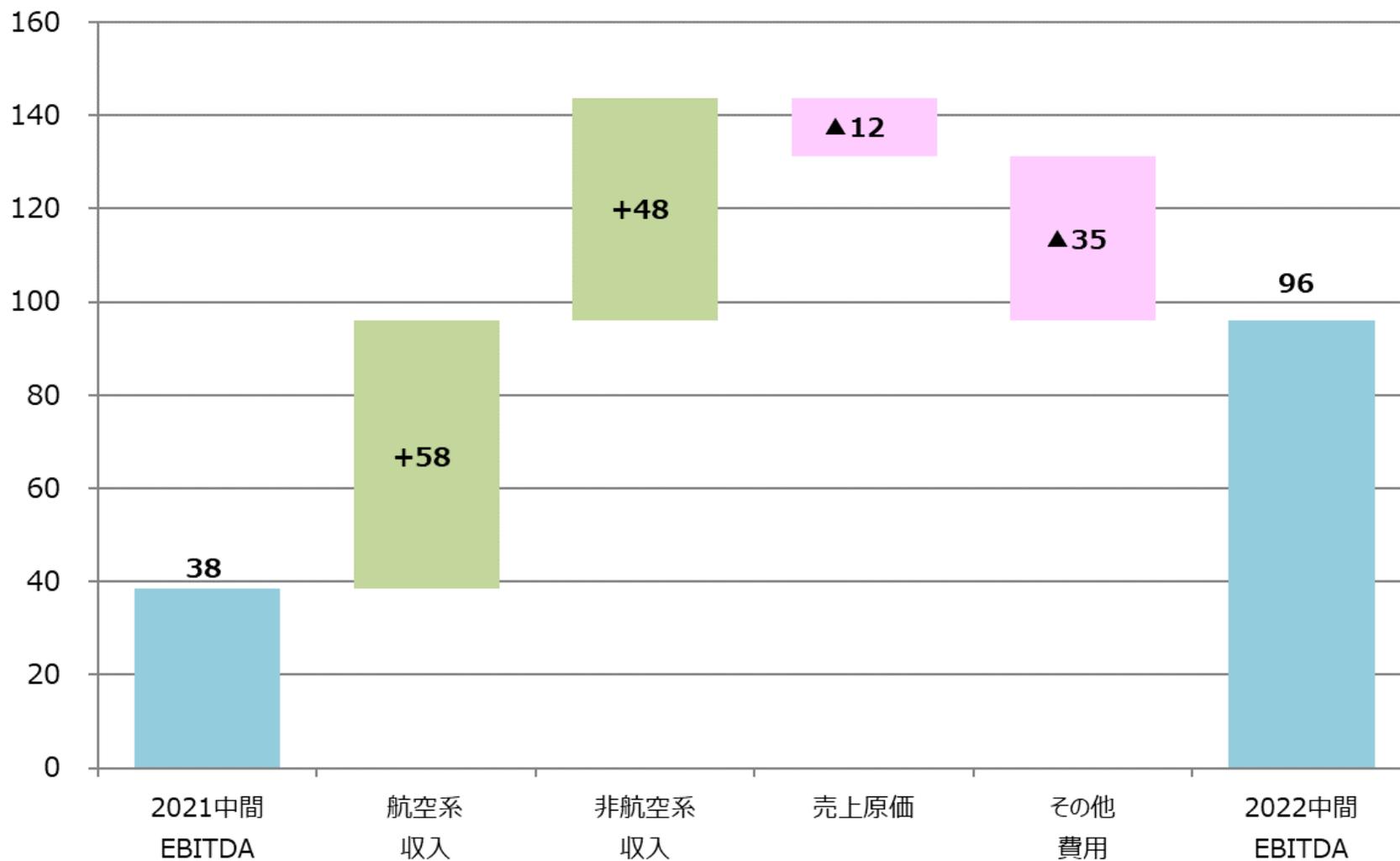
経営成績

【単位：億円】

	2021.4-2021.9	2022.4-2022.9	差額	%	うち 台風影響額
営業収益	307	412	105	+34%	
航空系	119	177	58	+48%	
非航空系	188	235	48	+25%	
営業費用（減価償却費除く）	(269)	(316)	(48)	+18%	
EBITDA	38	96	58	+150%	
減価償却費	(213)	(218)	(5)	+2%	
営業損益	(174)	(122)	53	-	
営業外損益	(46)	(52)	(6)	-	
経常損益	(221)	(174)	47	-	
特別損益	(5)	(8)	(3)	-	(5)
法人税等、非支配株主帰属損益	67	54	(14)	-20%	(1)
中間純損益*	(158)	(128)	30	-	(3)

EBITDA（前年比）

【単位：億円】



バランスシート

【単位：億円】

	2022.3.31現在	2022.9.30現在	増減
流動資産	935	932	(4)
うち 現金及び預金	745	721	(25)
固定資産	15,368	15,513	145
資産合計	16,303	16,445	141
流動負債	641	965	325
固定負債	15,205	15,144	(61)
負債合計	15,846	16,109	263
株主資本	440	312	(128)
その他の包括利益累計額	(1)	4	5
非支配株主持分	19	20	1
純資産合計	457	335	(122)
負債・純資産合計	16,303	16,445	141
【参考】			
有利子負債残高	2,180	2,267	87

公共施設等
運営権等

公共施設等
運営権に係る負債等



營業收益分析

【航空系】国際線・国内線ともに回復基調に

→ 発着回数・旅客数

3空港合計の発着回数は、前年度比較で40%増、旅客数は、国内線に牽引され同114%増。

→ 国際旅客便・国際貨物便

段階的な入国規制緩和により、国際旅客便の発着回数および旅客数は回復基調。

旅客便の回復に伴い、貨物便の発着回数は微減したものの、引き続き高水準を維持。

→ 3空港国内旅客便

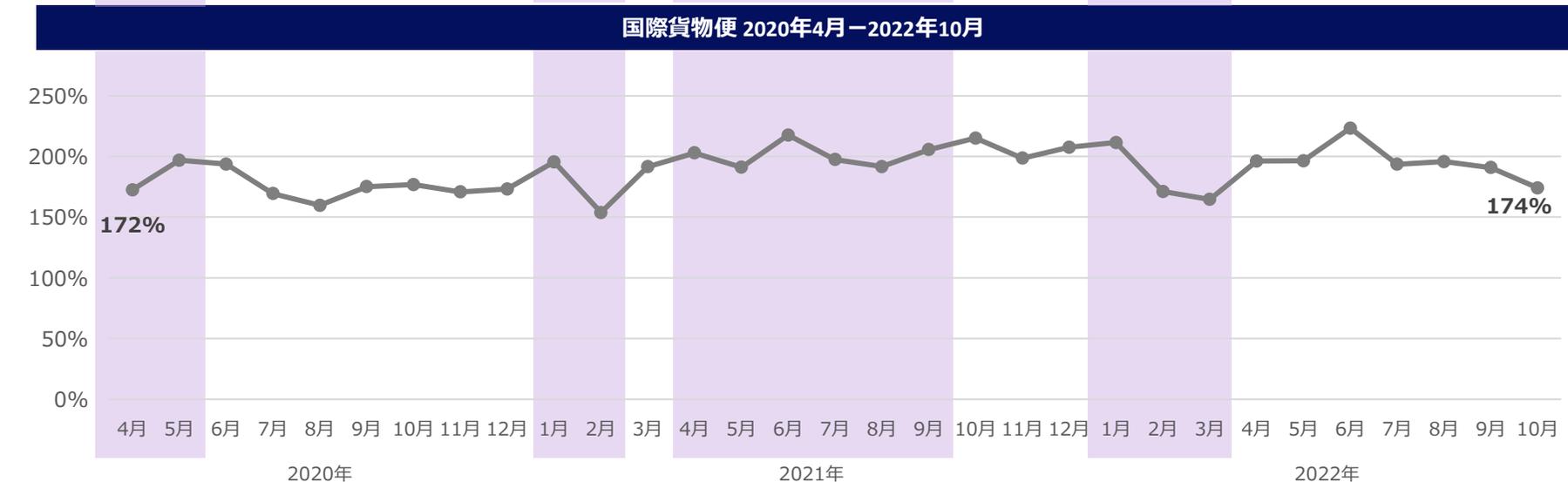
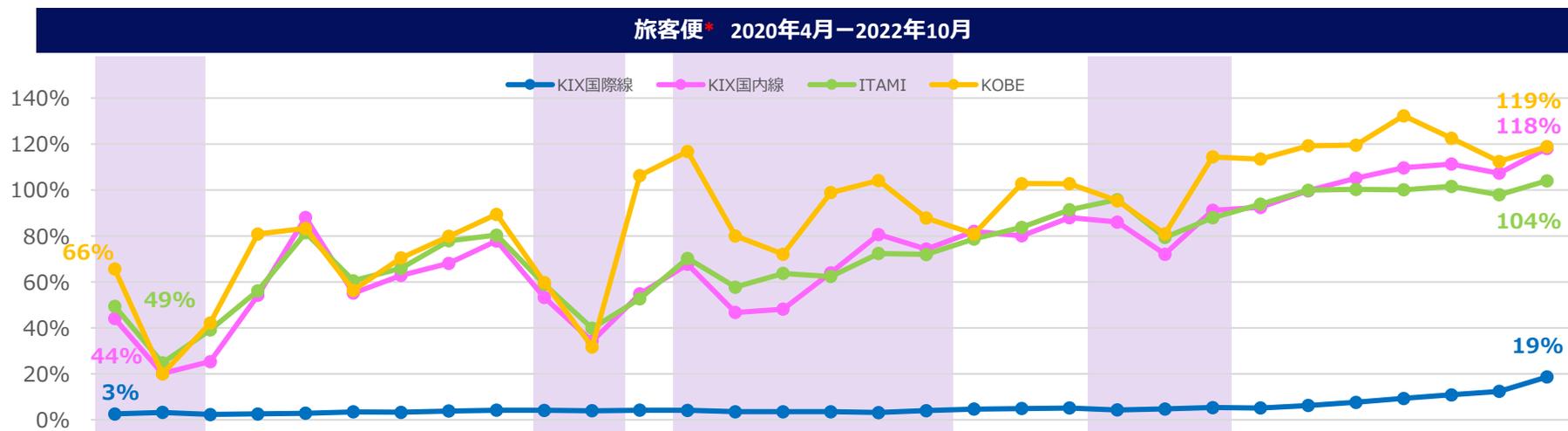
2022年度上期には緊急事態宣言等の行動制限はなかったこともあり、発着回数はコロナ前水準に回復。2019年の神戸空港発着枠拡大を受けた増便や関西国際空港におけるPeachの増便等もあり、3空港合計の国内旅客便発着回数は年度上期として過去最高を記録。

旅客数も、国内での旅客流動の増加もあり、前年度より大幅に増加。

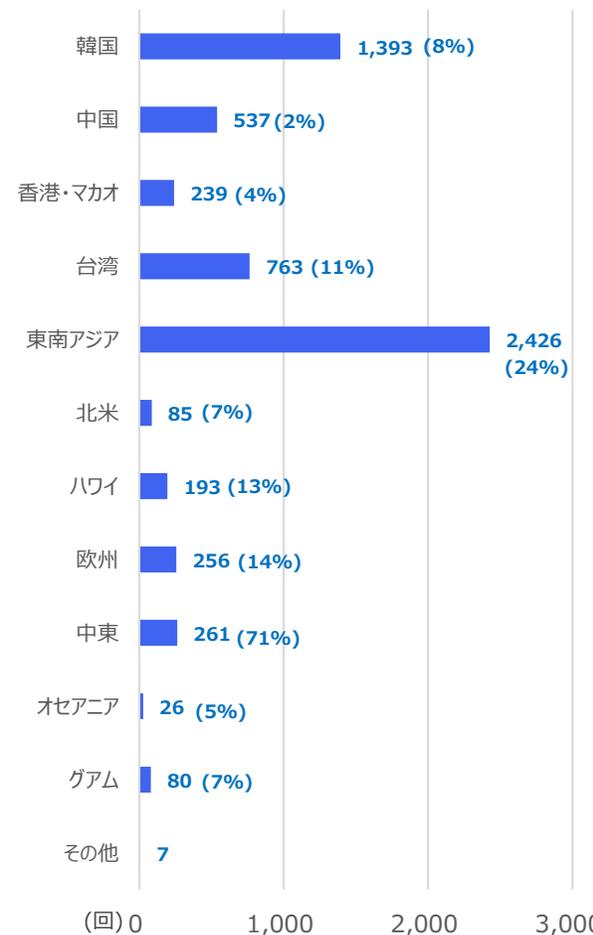
	2021年度 上期	2022年度 上期	前年差	前年比
発着回数 (万回)	9.4	13.2	3.8	+40%
関西国際空港	3.3	4.6	1.3	+38%
大阪国際空港	4.7	6.9	2.2	+48%
神戸空港	1.4	1.7	0.3	+18%
航空旅客数 (万人)	502	1,072	571	+114%
関西国際空港	142	350	208	+147%
国際線	12	60	48	+401%
日本人旅客	5	27	22	+435%
外国人旅客	6	32	26	+417%
国内線	130	290	160	+123%
大阪国際空港	288	581	293	+102%
神戸空港	72	142	70	+97%

【航空系】関西3空港 発着回数 (2019年度比)

は、関西圏での緊急事態宣言・まん延防止等重点措置発令期間を含む月



国際旅客便 2022年4月-9月 方面別発着回数** および2019年度比回復率

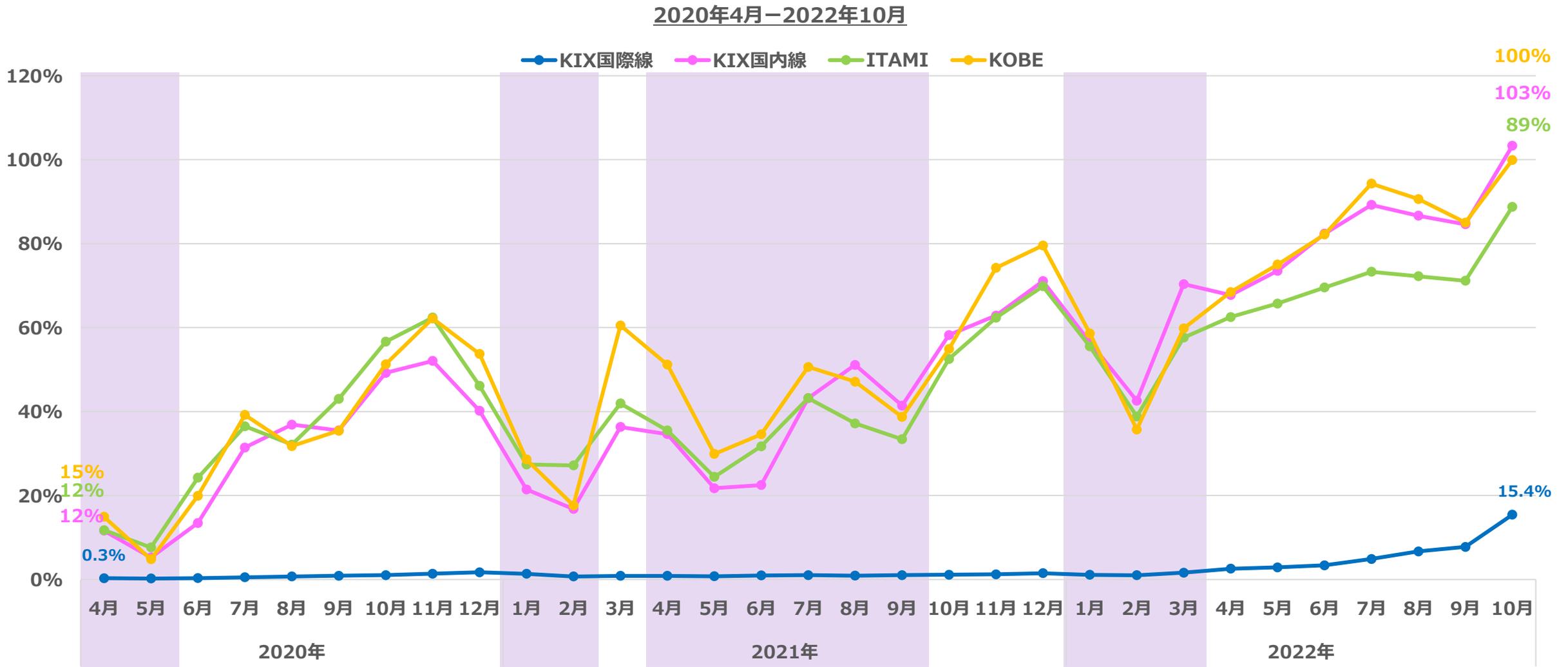


* 旅客便に関しては、2020年2、3月はすでに新型コロナウイルスによる影響を受けていたため、2021年2、3月および2022年2、3月は2018年度比で記載

**国際旅客便には、貨物輸送を目的とする運航が一部含まれる

【航空系】関西3空港 旅客数 (2019年度比)

は、関西圏での緊急事態宣言・まん延防止等重点措置発令期間を含む月

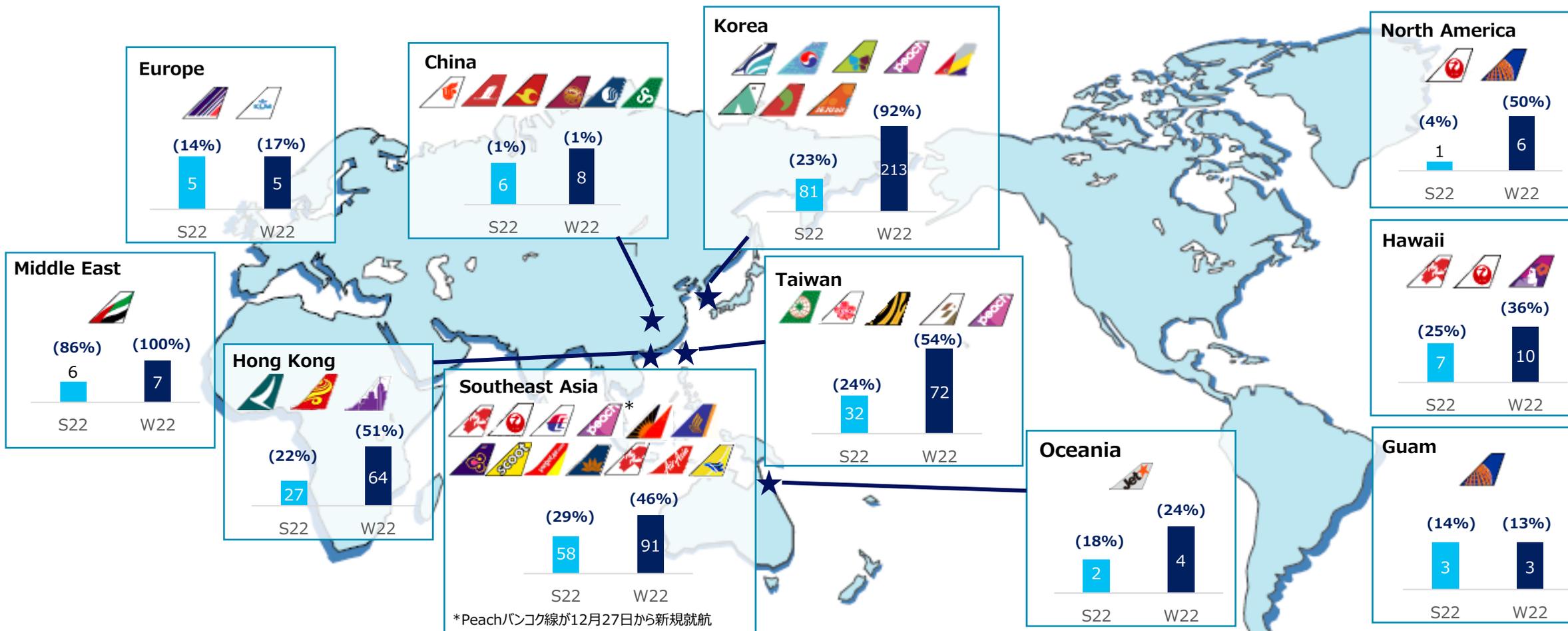


国際旅客定期便 2022年冬スケジュール便数

KIX 国際線 (週あたり便数)

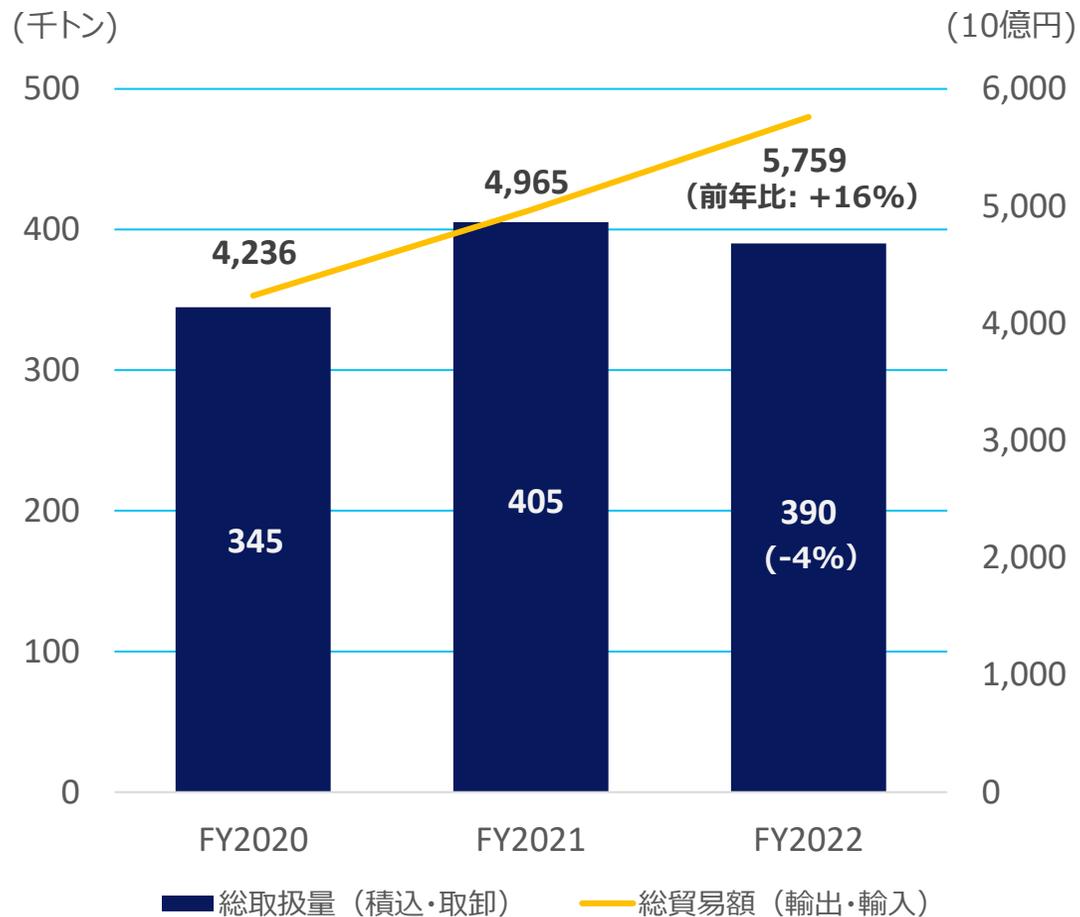
S22 : 228便 (S19比回復率16%)

-> W22 : 483便 (W19比回復率34%)



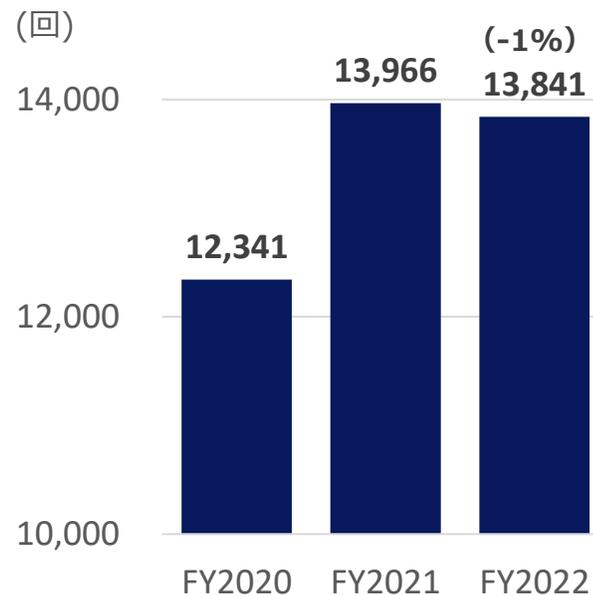
【国際貨物】発着回数・貨物量・貿易額

KIX/貨物量・貿易額

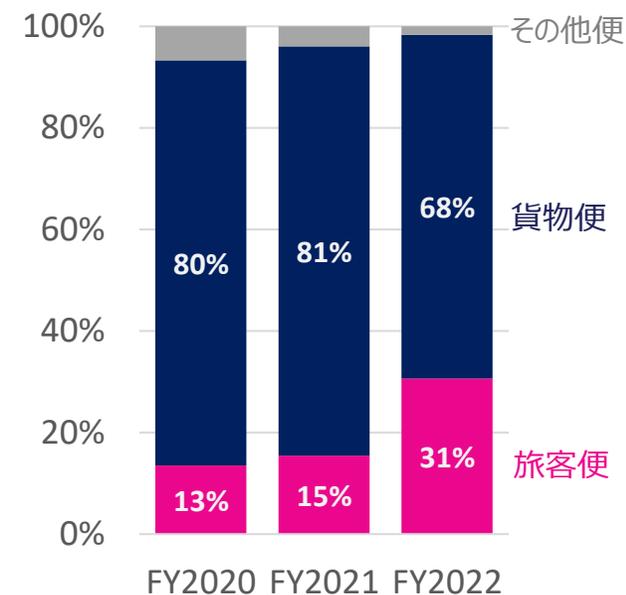


- ✧ 旅客便運休により不足した貨物輸送力確保のため、貨物便・旅客機利用の貨物便の発着回数は依然高水準だが、昨年度上期と比較すると微減となった。
- ✧ 昨年度上期と比較すると、貨物量は微減となったものの、医薬品や半導体関連等の輸送の増加により、貿易額は昨年度および2020年度を上回った。Eコマースの輸送も引き続き好調。

KIX/貨物便発着回数



KIX/国際線発着回数シェア



【非航空系】新型コロナウイルスの影響が継続するも上期収入は前年比微増

- 新型コロナウイルス感染症の影響による航空旅客数の大幅な減少が長期化する中、非航空系事業収入は引き続き厳しい状況が続くものの、国内線旅客については回復が続いていることもあり、収入は+48億円(+25%)と増加。
- 航空旅客数や顧客ニーズの変動を捉え、感染症対策を徹底しながら店舗の営業支援や利用促進に努め、新国内線エリアの開業を迎えた。

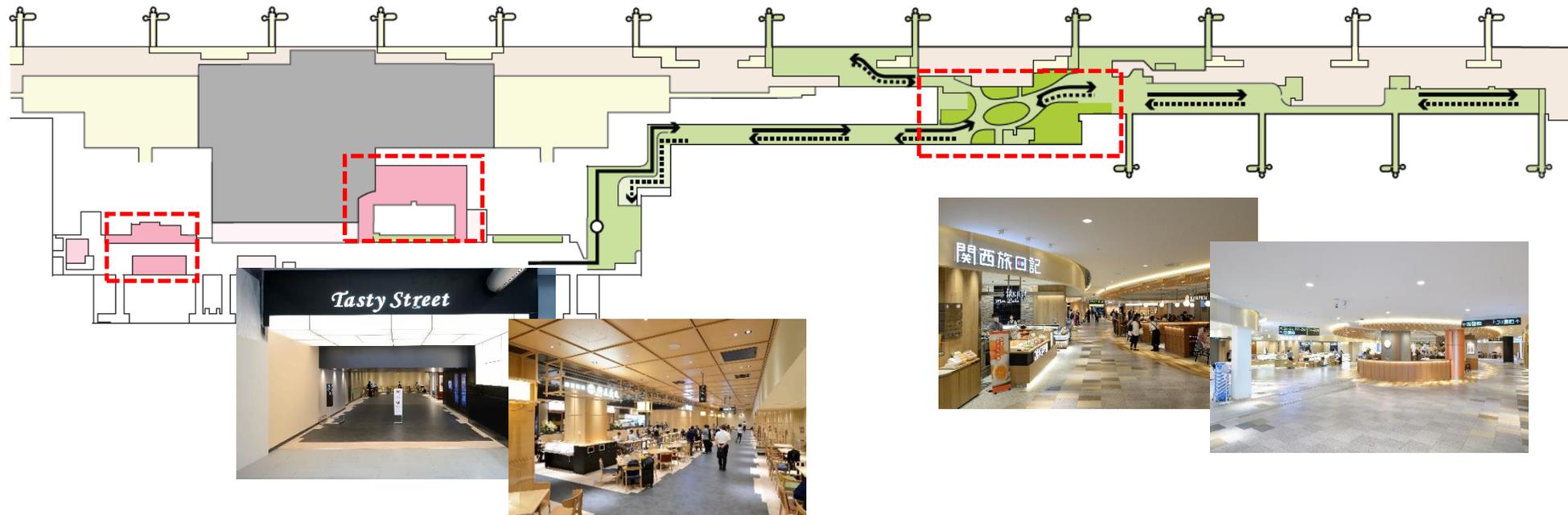


【非航空系】T1リノベーション（Phase1）新国内線エリアオープン

● POINT

- 一般エリアに、7店舗が出店。（飲食6店舗、物販1店舗）【10/1（土）オープン】
- 保安検査後に、6店舗が出店。（飲食4店舗、物販2店舗）【10/26（水）オープン】
- 国際線、国内線のお客様、深夜滞留者、従業員など様々なニーズへの対応するため、フードコートをはじめ人気のレストラン、カフェなど飲食店を中心に展開

【第1ターミナルビル 2階】





2022年度上期の取り組み

2022年度上期の主な取り組み

3空港

- ・エアバス社と日本における水素の利活用検討で連携（6/10）
- ・日揮HD(株)との国産SAF商用化協力に関する基本合意書締結（6/29）
- ・国内空港等と共同キャンペーン「#空とツナガル、空でつなぐ」実施（9/20～）

KIX

- ・防災事業の土木学会技術賞受領（5/16）
- ・「CEIV Pharma」2回目となる認証取得（7/7）
- ・親子環境ツアーを実施（8/5）

ITAMI

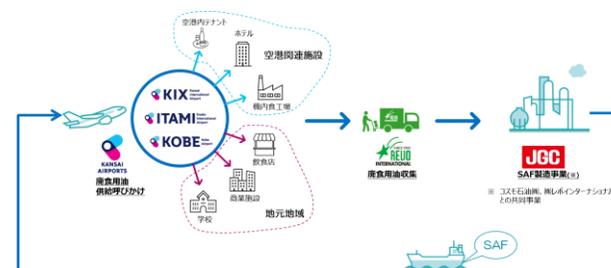
- ・ITAMIランウェイウォークを開催（7/9）
- ・空港制限エリア周遊ツアー付宿泊プランの販売（5/31）
- ・AIを使用したPBBのフルオートシステムを導入（6/27）

KOBE

- ・開港16周年記念イベントを開催（6/11、6/12）
- ・KOBEランウェイウォークを開催（7/23）
- ・「MINIATURE LIFE × KOBE AIRPORT」をオープン（9/30）



エアバス社との水素利用活用検討で連携（3空港）「CEIV Pharma」認証取得<2回目>（KIX）



日揮HD(株)との国産SAF商用化協力（3空港）



ITAMIランウェイウォーク（ITAMI）

#空とツナガル、空でつなぐ

#空とツナガル、空でつなぐ（3空港）



MINIATURE LIFE × KOBE AIRPORT（KOBE）